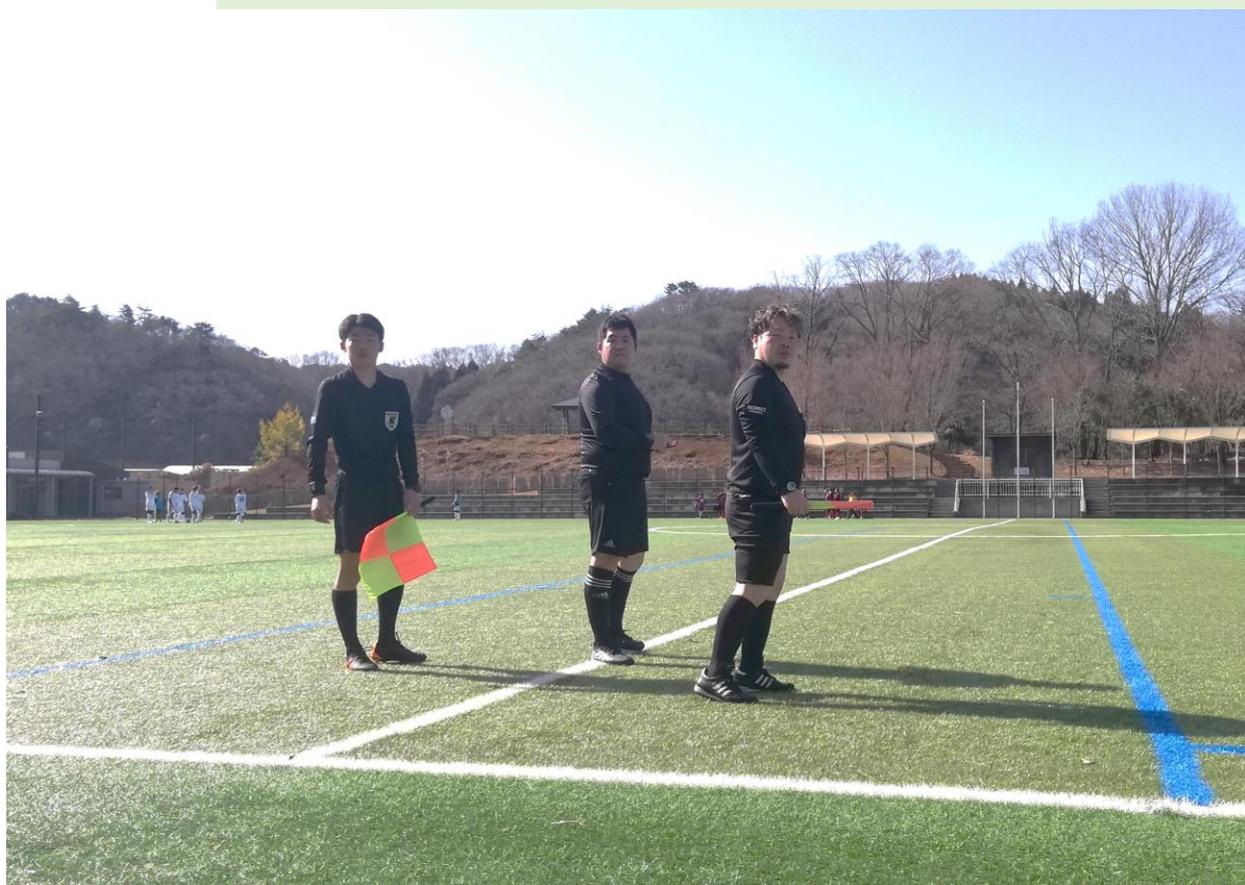


審判委員会

2022年度 第2回 都市協会合同

審判トレーニングセンター 開催報告



開催/参加協会

西播磨協会・姫路協会・北播磨協会・明石協会

【開会挨拶】

トレセン開催にあたって



小松委員長（右）から開講宣言があり、事務局として松浦氏も参加いただきました。

開講後、
一人ずつ
自己紹介を
行いました。



新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、3年ぶりの開催となった都市協会合同トレセン活動。

第1回目が淡路島のアスパ五色にて実施され、今年度2回目の舞台となったのは播磨光都（西播磨協会）の第一競技場とクラブハウス内の会議室でした。

トレセン開催にあたり、西播磨協会審判委員長の小松氏から研修の目的や内容、タイムスケジュールが示され、その後各参加者の自己紹介にて、1日がスタートしました。

- ・ トレセンの目的
- ・ スケジュール
- ・ 試合審判割り当て

2022年度の活動テーマ

【動き出し】

9:05から開始し、実技研修（実審判活動）前に、審判員ならびにインストラクターの割当ての発表が北播磨協会審判委員長の三木氏からありました。

続いて、メインテーマである「動き出し」については、姫路協会審判委員長の松本氏による講義がスタートし、「何のために動き出すのか？」を今回は徹底的に掘り下げていく手法のもと、参加者へきめ細やかな指導を行いました。



実践前に動画によるレクチャーが始まる



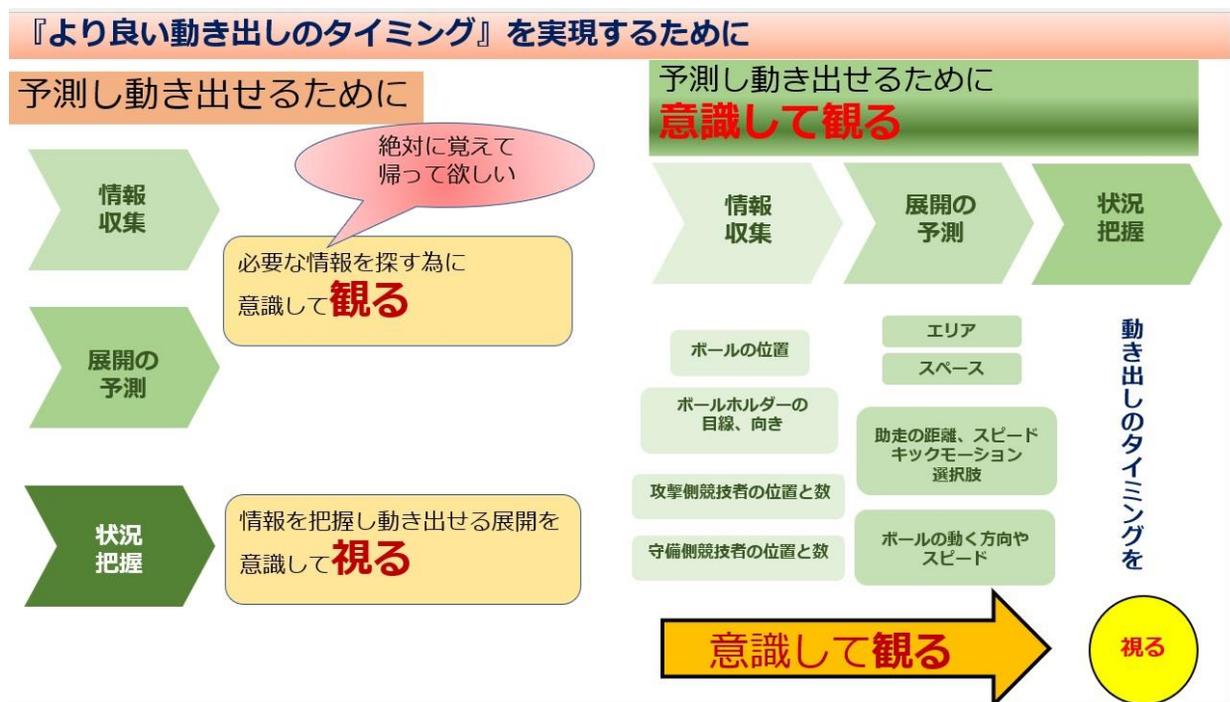
各試合への審判割り当てが済んだところで、より実践が効果的となるようまずは予測について動画を用いながらの説明に移りました。

参加審判員に「今、自分が車を運転していると仮定して、この状況でこの先どんな事が予想されますか？」との質問を投げかけ、それぞれに答えていただきました。

目から入ってくる情報として、①道幅が狭い②対向車はバイクのみ③両端に通行人④左手には遊戯具が見える⑤ボールが転がってきた⑥左から子供の影が・・・
これだけの情報を瞬時に整理して次取るべき対応（アクセル/ブレーキ/ハンドル操作：どちらに切る等）を考えていただくとともに、サッカーの審判としての予測や動きについても同じように、予測と状況判断の重要性、気づきを与える目的で講義しました。

「見る」と「観る」と「視る」

運転手として次の行動を予測してもらう動画を流した後に、『「より良い動き出しのタイミング」を実現するために』、と題して「情報収集するために意識して観る」事の大切さ、得た情報を把握した上で「動き出せる展開を意識して視る」必要性を松本氏から説明/指導いただきました。



各研修には目的・狙いがあり、それをより具体的に行っていただくためにもメインテーマを設けています。

今回もただ漠然と試合をこなすのではなく、「意識を持って意識的に動く事、動き出す事」が最重要項目と捉え、各審判員に実行していただきました。

インストラクターが2階の観覧席からビデオ撮影を行い、どんな動き出しをしているのか、結果どんな判定に繋がったのか、それが正しかったのか、そうではなかったのかを午後の部で全員で分析するようなスケジュールを組みました。

意識して行うもの
と
そうでないもの

..との違いとは？

<俯瞰して視ることからの気づき>



第2回目の合同審判トレセンでは、西播磨協会が主催、姫路協会が支援、参加協会に北播磨と明石の4組織が集結して開催されました。

実践編として、シニアリーグに了承を得て、審判団を割当て・送り出すことができました。関係者の皆様におかれましては、我々の活動・主旨に対するご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

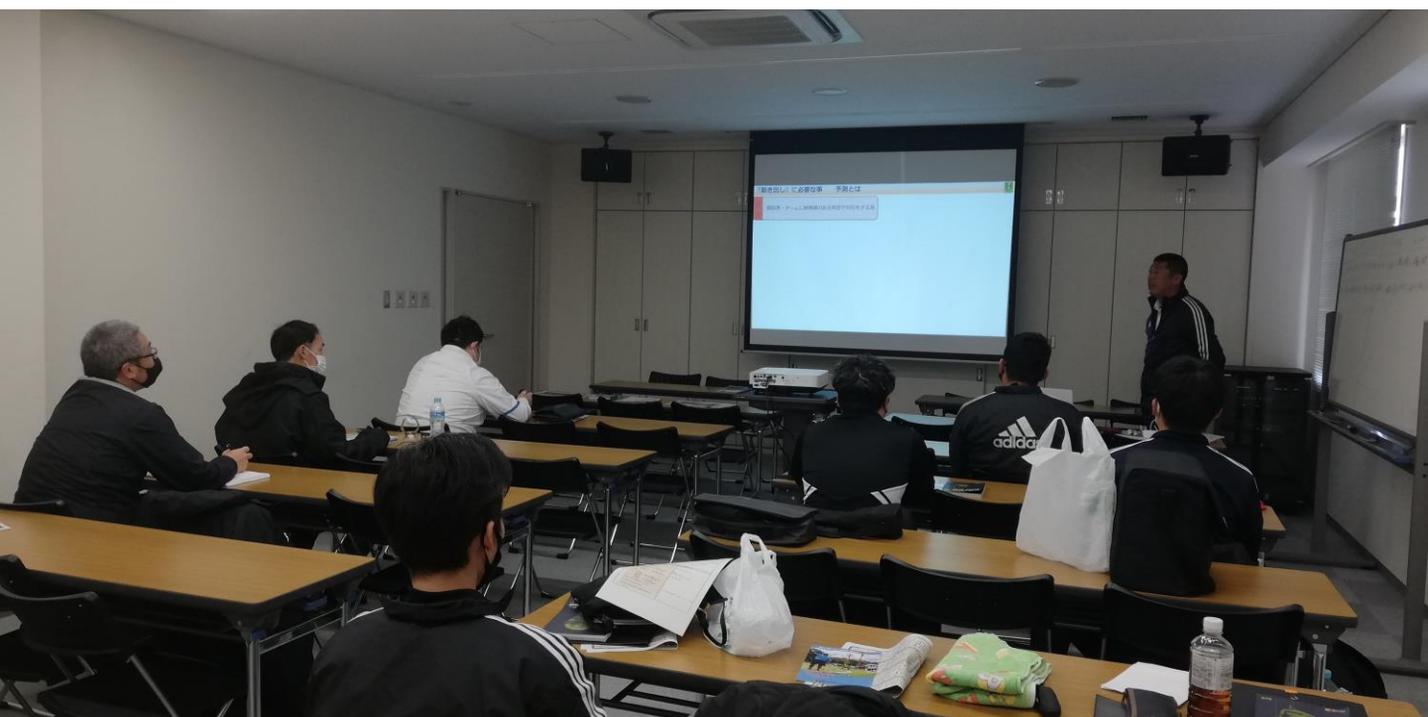


実践後の【振り返り】

昼食をはさんで引き続き実践割当てを行い、主審←→副審の交代を繰り返し、一人当たり2～3試合こなす事で経験を積み上げていく事に。

俯瞰した形で高台から撮影した映像をもとに各インストラクターから振り返りを行っていただきました。

「ここで適切にファウルを取り、FKの再開位置を示したまでは良かったが、その後下を向き何故ゆっくり歩きながら動いたのか。その結果、次の判定にどんな影響があったのか。」や「今、ここで気を緩めず、次の争点を意識して先に動き出した事でこのファウルを良いポジションで見極める事が出来た」等、良かった点・課題点を実際に各審判員に見てもらう事で、まずは気づきを与える事ができました。



審判員の方々に聞いてみると「実際に審判している所をビデオで撮影していただき、自分の動きや判定を見る事が初めての経験」という方が大半でした。

戦術理解を深める為にチームや選手側の立場として試合を撮影する場面は往々にしてありますが、一個人一審判員として何十分間も撮影される事は、都市協会レベルではかなり少ないと感じます。

そう考えると今回のこのトレセンで[撮影→自己分析]が出来た事に意義が感じられ、また「映像指導の効果」も改めて再認識できました。全ての試合を録画できる訳ではありませんが、便利で使えるツールをほどよく活用していけるようバランスを取りながらインストラクター活動を進めて参ります。

まとめ



映像分析、振り返りを終えたところで、最後にまとめ講義を行いました。

単にスタートを早く切るのではなく、「何を見に行くために、どのタイミングで、どの方向に動き出すか。」を決めた上で動く事が重要。試合の流れを読み/予測し、時にその場に留まり、ボールや競技者を先行させてから後から動く場面もあります。

またアウトオブプレーとなった時こそ状況を見て、次の争点へと早めに移動しておき、“待ち伏せ”しておく事やインプレー中においては、競技者間で接触が起こりそうな位置を予測し、その事象が見えるであろう場所へ移動するための【動き出し】が大切である事を、姫路協会の瀬尾インストラクターと北播磨協会の三木インストラクターから最後に教わりました。



【報告】

2022年度 都市協会合同審判トレセン（西播磨・姫路2/12）



一般社団法人兵庫県サッカー協会 審判委員会主催		2022年度 都市協会合同審判トレセン	日程	2023年2月12日（日）
会場	ダイセル播磨光都サッカー場第1グラウンド&研修室			
大会	シニアリーグ2022（O-40・O-45）			
目的	必要な役割・知識の取得を目指し、公平・正確なジャッジができるよう審判員としての資質を高める。 意識して「観る」を習慣を付けることに視点を置き、状況に応じて動くタイミングや方向を選択するための「予測」を高め信頼される審判員を目指す。			
役員及び インストラクター	明石協会：神田 哲也（役・INS） 北播協会：三木 章嗣（役・INS） 姫路協会：松本 実（役・INS） 藤田 和昭（役・INS） 末戸 将太（INS） 瀬尾保直（INS） 西播磨協会：小松 精二（役） 松浦 弘季（役）			
参加審判員	明石協会：杉谷 佳樹（3） 北播協会：鳴美（3）・古家（3） 姫路協会：西田拓駿・伊藤雅倫（11時以降の参加）・稲積 一樹・高橋 謙介（欠） 西播磨協会：西山 正之（3）（欠）・中島 宏幸（3）			
ローカルルール	スライディングタックルは禁止（直接FK）			
月日	時間	日程の概要	服装	審判時；審判服、以外は動きやすい服装
2 月 12 日 （日）	9:00	集合 ダイセル播磨光都サッカー場 研修室	【備考欄】	
	9:05	開校式（挨拶・日程説明）	司会：松浦 挨拶・説明：小松	
	9:15	本日のねらい（松本）約30分		
	10:25	O-40 カルチョ 5 VS 1 加古川西OB 前R：杉谷 後R：鳴美 A1：稲積 A2：西田 A1：小松 A2：西田 INS：神田 INS：藤田	準備物 ビデオ（三木） パソコン・プロジェクター（松本）	
	11:10	O-45 高砂ミネイロ 0 VS 3 加古川西OB 前R：古家 後R：中島 A1：杉谷 A2：西田 A1：鳴美 A2：稲積 INS：末戸 INS：藤田	ビデオ係：松浦、藤田	
	12:00	昼食		
	13:25	O-40 エストレラ津田 3 VS 1 スクラッチクラシコ 前R：西田 後R：稲積 A1：伊藤 A2：中島 A1：中島 A2：杉谷 INS：神田 INS：藤田		
	14:10	O-40 但馬選抜 1 VS 2 カルチョ 前R：伊藤 後R：西田 A1：鳴美 A2：西田 A1：杉谷 A2：鳴美 INS：末戸 INS：瀬尾		
	15:00	ビデオ分析・質疑応答等（三木）約30分	各INSより課題の抽出最低各1シーン。抽出の中より2-3シーン振り返り	
	15:30	本日のまとめ（瀬尾）約30分		
16:00	締め（都市協会部会代表）のお言葉（神田）約10分			
16:10	閉講・解散			